

5

野戰高射砲第七十九大隊第三中隊



戰間詳報

23710

昭和二十年一月三日 整理番號一

軍事秘

RS 25396
CINCOR-CINCOR

Handwritten numbers: 200# and 156335

一	戰闘前ノ状況	一頁
二	戰闘經過ノ概要	二
三	彼我ノ損害	四
四	其ノ他ノ参考事項	四
五	附記	五
六	第三中隊配備及射撃位置並ニ航跡要圖	六
七	附録第一、諸元表	七
七	第二、武器彈藥消耗表	七
八	第三中隊射撃計畫	八
三	三編成表	三

戰闘詳報 一月三日 於那由朝

一、戰闘前ノ状況

1. 敵航空情報ヲ綜合スルニ最近敵機ノ蠢動漸ク活潑トナリ南島諸島ノ攻勢ヲ企圖スルニアリザルヤ。類々トシテ沖繩島附近地域全般ニ亘リ B-29 着入シ執拗ナル偵察ヲ反復シツ、アリ。

2. 高射砲第七十九大隊第三中隊ハ八月二十四日以降 伊良皆ニ在リテ北飛行場 援護ニ服務中 森臨編高作命 第一號ニ基キ那覇港碇泊ノ船團援護並ニ同港附近ノ防空ニ任ズル目的ヲ以テ 十月二十二日七時 伊良皆ヲ出發 同日十一時到着 西新町廣場ニ陣地占領シ 爾來前記任務ヲ續行シツ、アリ。其ノ配備ハ附圖参照) 並ニ戦斗一般ノ計畫別紙附表ノ如シ。

3. 七時四十八分大隊本部ヨリ左証情報ヲ受領ス。

左記

1. 與坐嶽 基點ニ七〇度ニ待我 不明機ノ大編隊アリ。警言
ヲ要ス。

ii. 臺灣令地區 空襲警報 發令。

4. 八時四十五分 大隊本部ヨリ 戦手姿勢ヲ令セラル。全員直
チニ定位ニ就キ 三三敵ナル警言ヲ續行中 敵機 B.29 單
機 高々度ヲ以テ 波上宮神社上空ヲ 志原燈臺ニ向ヒ 飛
航スルヲ 望見セリ。

二. 敵機經過ノ概要

八時三十分 大隊本部ヨリ 敵機射界ニ入リバ 有効ナル射撃
ヲ以テ 擊墜セヨ トノ令ニ接ス。

全員滿ヲ持シ一發必墜ノ信念ニ燃エ 該敵機ノ行動ヲ
監視セルニ 偶々八時五十八分 該敵機 B.29 八ノ小隊上空ニテ方
向变换シ 緩蛇行ヲ以テ 北進 中隊上空ニ至ルヤ 中隊長ハ直チ
ニ之ニ對シ 附録第一ノ 諸元ヲ以テ 第一群射(四発)ヲ實施ス

スルヤ 該機ハ 突噴ニ上昇 蛇行ヲナシ 車クモ 雲中ニ遁走セリ

九時三十分 西北方ヨリ 現出セル 敵グラマン機(以下 Gト稱ス)

六機ニ對シ 波上宮神社上空ニ至ルヤ 中隊長ハ直
チニ附録第一ノ 諸元ヲ以テ 射撃スルヤ 不現行
動ヲ 執リ 且 航速ヲ 増シ 泊方向ニ機影ヲ没
セリ。

九時三十五分 敵 G 八機 西方ニ現出 東北方ニ航行スル

發見 中隊長ハ直チニ之ニ對シ 那覇港上空
ニ於テ 附録第一ノ 諸元ヲ以テ 第一群射(四発)ヲ
實施スルヤ 敵ハ編隊ヲ 解キ 高度ヲ 昂メ 雲
中ニ 逃避セリ。

九時三十八分 志原燈臺上空ニ 機影ヲ 現ハシ 北方ニ進行

セントスル 敵 G 一機ニ對シ 中隊長ハ直チニ附
録第一ノ 諸元ヲ以テ 第一群射(四発)ヲ實施スル

九時五十二分 敵ハ進路ヲ赤坂 泊方向ニ遁走セリ。

空ヲ通過シ 西方ニ雁行スルヲ發見 機ヲ失セズ 中隊長ハ之ニ對シ 所録第一ノ詰云シ以テ 第一群射(五發)ヲ實施スルヤ 射撃ハ機ノ前後ニ炸裂シ 後續機ハ突如 機首ヲ下ゲ一瞬墜ルヲ見スルヤモ見受ラレシゲ 再ビ機首ヲ墜ケ 槍煙トシテ 西方ニ遁走セリ。(撃破中隊長確認)

三、彼我ノ損害

撃破一機 我ニ損害ナシ。

四、其ノ他ノ參考事項

今次敵B29ノ行動ハ一五秒乃至二秒位。不規則雜行ヲナス 上層風ハ高度八〇〇〇ニテ 西厚五。米アリ。(爆煙ニテ測定) コノ種大高度目標ニハ 彈道風修正ノ要アリナルヲ痛感ス。

五、附記

ナシ

目標	時刻	機種	機數	觀測距離		信管射擊	使用彈數	殘餘彈數	效果	備考
				高度	航速					
1	0858	B.29	1	3000	150	/	4	396		
3	0930	G. F4F	6	2400	110	/	5	391		
4	0935	"	8	2300	90	/	4	387		
5	0938	"	1	2400	90	/	4	383		
7	0952	"	2	3900	110	/	5	378	擊破 一機	

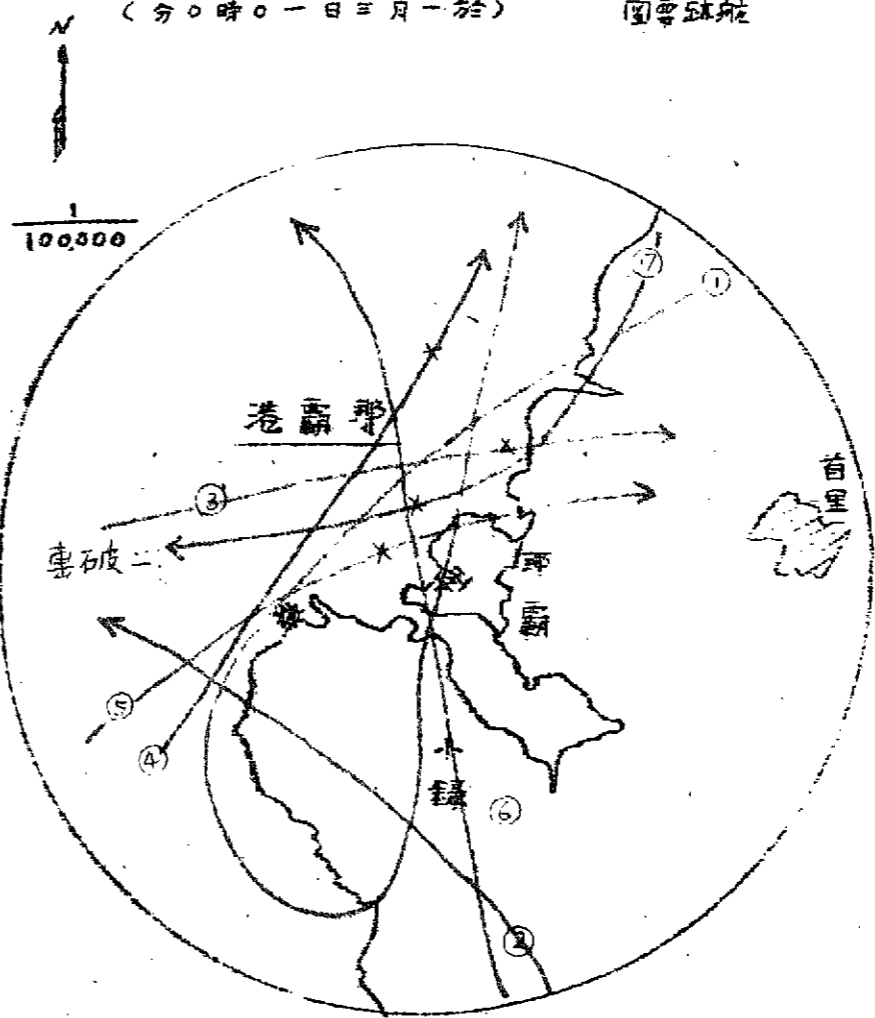
備考

備考	計	第第隊	隊分		種類
			射高五二	彈鏡尖	
	二二	二二	射高五二	彈鏡尖	清
					藥
					武
					備
					案

昭和二十年
一月三日
野戰高射隊第廿二隊
武器裝備表

附錄
第一
諸
表

= 設置位擊射及備配隊中三第隊大高編陸森
(分。時。一。日。三。月。一。始) 圖要詳航



備考
一〇四ノ數字ハ
目標ヲ示ス
二X印ハ射擊位
置ヲ表ス

附錄
第二

射撃計畫

本隊臨高大隊・第三中隊

第一 方針

中隊ハ主トシテ 西北方及西方ヨリ 來襲スル 敵飛行機ヲ 殲
撃下前ニ 殲滅撃滅シ 那霸入港ノ 船團ヲ 援護ス。

第二 任務

重點ヲ 西方及西北方ニ 保持シ 該方向ヨリ 來襲スル 敵機
ニ 對シ 船團ヲ 援護ス。

第三 情報

遠距離情報ハ 主トシテ 大隊本部ヨリ 受領ス。
近距離情報ハ 大隊本部ヨリ 受領スルノ外 自隊ニテ 蒐集ス。
情報傳達ノ 責任者ハ 指揮小隊長トス。

第四 監視

(一) 對空監視ハ 四圍トスルモ 特ニ 重點ヲ 西北方及西方(海側)

トス。

(二) 對空監視立哨人員ハ 山崎射砲第三中隊戰鬥計畫ニ 據ル

(三) 目標ノ 長受ハ 通常 五島カニ 地圖及ビ 方位ニ 依ル。

第五 射撃準備

(一) 敵ノ 射撃準備ハ 計算法ニ 依ル。

(二) 修正射ノ 實施計畫ハ 附表 第一ノ 如シ。

(三) 指揮小隊長ハ 觀測科下士官ヲ シテ 毎日七時・十二時及
十六時ニ 於ケル 修正量ヲ 算定スルモノトス。

(四) 氣象家 觀測ハ 自隊ニ 於テ 測定スルモノ、外 本部ヨリノ
通報ニ 依ル。

(五) 方位分 隊ヲ 存スル 總テノ 兵器ハ 長北ニ 標定ス。

第六 觀測射撃

(一) 目標ノ 選定並ニ 配當ハ 左右ノ 進行方向ニ 對スル 前後地點
高度、機種、機數、方位及 高低角ニ 依ル。

修正射実施計画

δ	H	J
5400	3000	45
5400	5000	60
5400	7000	70

附表第二

急襲目標ニ対スル 阻止射撃計画

分隊	1号			2号			3号			4号			5号		
	δ	J	Tp	δ	J	Tp	δ	J	Tp	δ	J	Tp	δ	J	Tp
一	500	10	3	1000	10	3	3200	15	3	4000	12	3	4800	10	3
二	400	12	3	1200	15	3	3400	13	3	4000	10	3	4800	12	3
三	300	11	3	1100	13	3	3300	12	3	4100	11	3	4800	10	3
四	200	10	3	1000	9	3	3200	9	3	4100	12	3	4800	13	3

(四) 聴測射撃ハ行ハサルモノトス。
 (五) 其他山高射砲部隊第三中隊射撃計
 画ニ依ル。
 附表第一

不時現出スモノ
 固定阻止射撃
 附表第一ニ如シ

同時ニ敵方向ヨリ シテ敵ヲ急襲スル シタルモノ	分隊分ニ依ル 砲身射撃	測高機ハ刻々直距離ヲ測定シ 適時高層機ニ依リ高層ヲ算定シ 観望スル モノトス
起低空ノ行 動ヲナス目標	直距離射撃	第一分隊・第二分隊長 第三分隊・指導員隊長 第三分隊・中隊長 第四分隊・定中隊長 トスルモ分隊長 ハ率先射撃ヲ 行間サスモノトス
目標	射撃	要領

(一) 大隊長火力ノ集中ヲ指示シ又ハ射撃開始ノ経制ヲ行フ
 コトアルモ 兵ノ進マキ時ハ 中隊長ハ左ノ各項目ニ依リ適時
 目標ヲ選定シ射撃ス。
 (二) 幾方方向ヨリ回時ニ進入スル敵機ニ對シテハ 矢ッ船團
 ニ近キモノヲ選定ス。
 (三) 異ル機種アルトキハ 爆撃機ヲ選定ス。
 (四) 高度差アル敵機ニ對シテハ 低キモノヨリ火力ヲ指向ス。
 (五) 目標ノ行動ニ應ジテ行ニ準備セル射撃

